

長野高校 2 学年 SGH 通信	かかわ <b>五世界に繋る</b>	金鷄ファイルに保存 第 14 号 (通算 40 号) 2016 年 10 月 4 日 (火)
------------------------	----------------------	--

**総合⑧ (10 月 4 日 (火)、5 日 (水)) の予定 (PC 室 or LL 教室 集合)**

1・2 組 : 4 日 (火) 5, 6 時間目 / 3・4 組 : 4 日 (火) 3, 4 時間目  
5・6 組 : 5 日 (水) 5, 6 時間目 / 7 組 : 5 日 (水) 3, 4 時間目

**① SGH 課題研究評価表 (ループリック)、クリアポケットを受け取る。**

**② プレゼンリハーサル**

- ・ 班ごとに ppt スライド、発表原稿のすり合わせを行う。
- ・ スライドや原稿が完全でなくても構わないので、とにかく、この時間内に以下に挙げる先生・生徒に対して発表のリハーサルを行う。

- 1) 班担当の先生…発表をしながら、困っている点などを相談する。  
(裏面の時間割を見て、空き時間に研究室に伺ってみる。ただし、空き時間のない先生もいますし、多忙で時間がとれない場合もあります。その場合は、放課後、昼休みなどにアポイントを取りに伺う。「総」は「総合」なので相談 OK)
- 2) 教科担当の先生
- 3) 他の班の生徒・担任の先生など

- ・ PC 室班 : スライドの保存先は白鳥 t の指示に従う。  
(i) 見ていただく先生に PC 室へ来てもらう。  
または (ii) USB に保存して、先生方の研究室へ赴き、先生の PC を借りてプレゼンする。
- LL 教室班 : ファイルの保存先は USB または google apps とする。  
(i) データと PC を持って、見ていただく先生の所へ赴き、プレゼンする。
- ・ プレゼン発表後、評価表に記入してもらいアドバイスをもらう。
- ・ 評価表は①～③の 3 枚をクリアポケットに入れて SGH 事業推進室前の提出 Box に提出。

**③ 資料の手直し**

- ・ プレゼンリハーサル後にアドバイスを参考に手直しを行う。
- ・ 発表時間 (8 分) に収まるように修正を加える。

**④ 英語原稿の作成について**

- ・ 日本語版での原稿をもとに英語原稿を作成する。
- ・ 班ごとに英語科ダニエル先生に添削を依頼する。

**⑤ 連絡 : 10 月 7 日 (金) 18 : 00 〆切 発表スライドの保存・提出について**

- 以下のようにお願いします。
- ・ 班発表のスライドは google apps に「〇〇組口班 タイトル(班長名)」と名前を付けて保存する。
  - ・ 班のスライドをアップロードしたら、以下のアドレスを共有に追加してください。  
白鳥 : [shiratori@sgh-nagano.com](mailto:shiratori@sgh-nagano.com)  
大池 : [hirosatooike-SGH@sgh-nagano.com](mailto:hirosatooike-SGH@sgh-nagano.com)
  - ・ プリントアウトしたものの 3 部を①分散会講師、②ファシリテータ、③SGH 事業推進室 に提出する。  
これを審査の対象とする。(google apps 上のファイルも内容評価の参考にします。)

平成 28 年度 課題研究発表会 審査要項

(1) 賞について

- ・ 最優秀賞 賞状・副賞 1 班
- ・ 優秀賞 賞状・副賞 1 班
- ・ 奨励賞 賞状・副賞 3 班

(2) 審査の概要

一次審査は、A「ppt 配付資料」審査 B「分散会プレゼンテーション」審査の二つの審査で行い、各分散会の 1 位及び入賞 5 班を決定する。

二次 (最終) 審査は「全体会プレゼンテーション」審査で行い、最優秀賞と優秀賞を決定する。  
また、これまでの課題研究への取り組みも参考とする。

(3) 審査の日程

一次審査 : A 10 月 7 日 (金) 18:00 までに「ppt 配布資料」(1 頁 6 枚・横) をプリントアウトして SGH 事業推進室に提出。英語発表の班は「日本語要旨」も必ず提出。  
発表原稿の提出は強制しないが、発表内容を正確に伝える意味で、希望する班は、「ppt 配付資料」にノートを入力するか、または「発表原稿」を添付してよい。

→大井校長、小川教頭、SGH 事業推進室員の審査。(38/50)

\* 「ppt 配付資料」を提出しない班については一次審査 A の審査対象外とする。

B 10 月 13 日 (木) 課題研究発表会 第一分散会プレゼンテーション  
→分散会講師による審査。(12/50)

二次審査 : 第二部全体会プレゼンテーション →外部講師による審査。

(4) 審査委員

一次審査 : A 大井校長、小川教頭、SGH 事業推進室員 / B 分散会講師  
二次審査 : 大井学校長、外部講師

(5) 審査方法

一次審査 : 長野高校「課題研究評価シート」(ループリック) により審査する。

50 点満点 A 38/50 点 B12/50 点

\* 分散会プレゼンテーション終了後、全体会開会セレモニー終了までに集計→上位 5 班報告。

二次審査 : 長野高校「課題研究評価シート」(ループリック) により審査する。

\* 発表 8 分、質疑応答 12 分の間に評価→講評の間に集計。

(6) 結果発表と表彰

10 月 13 日 (木) 課題研究発表会 全体会

- 開会セレモニーで一次審査の上位 2 班を発表 (SGH 事業推進係)、この 2 班は続いてプレゼンテーションを行う。
- プレゼンテーション終了後、2 班への講評後に最優秀賞、優秀賞を発表 (校長)。その場で表彰を行う。
- 表彰終了後、奨励賞の 3 班を発表 (SGH 事業推進係)。表彰は後日、校長室にて行う。
- 各分散会の 1 位は後日 SGH 通信にて発表する。